

令和4年度 指定管理者の管理運営に対する評価シート

所管課	企画部 スポーツ振興課
評価対象期間	令和3年4月1日～令和4年3月31日
施設種別	レクリエーション・スポーツ施設

1. 指定概要

施設概要	名称	大分市営温水プール					
	所在地	大分市西浜1番14号					
	設置目的	市民の心身の健全な発達に寄与するため。					
指定管理者	施設の建築年 (又は事業開始年)	平成7年度					
	名称	日本水泳振興会・東急コミュニティー共同事業体(株)日本水泳振興会・(株)東急コミュニティー					
	代表者名	(株)日本水泳振興会 代表取締役 坂元 要					
指定管理業務の内容	所在地	東京都中野区東中野3丁目18番12号					
	内容	①管理施設の使用許可に関する業務 ②管理施設の使用に係る利用料金の収受に関する業務 ③管理施設の維持管理に関する業務 ④管理施設の利用促進及びスポーツの振興を図る業務 ⑤その他、市長等が必要と認める業務					
	料金体系	【個人利用】大人：160円(330円) 高校生等：70円(160円) 幼児、小・中学生：40円(70円) ※()内は温水期(10月～6月)料金 【教室】入会金：3,000円 受講料：1回毎は1,000円、練習回数により2,000円～5,000円					
利用料金制	導入済	選定方法			公募		
指定期間	平成31年4月1日～令和6年3月31日 (5年間)			導入年度	年度		
利用者数 (単位：人)		R3年度 目標④		120,000	達成率 ①/④	74%	
18年度② (直営時)	29年度	30年度	R1年度	R2年度③	R3年度①	R2年度比 ①-③	
109,317	67,229	109,360	100,582	70,939	88,229	▲ 21,088	
管理運営経費の削減額 (直営比較時) (単位：千円)							
直営時 管理運営経費(b)	前指定期間 最終年度○○年(c)	30年度	R1年度	R2年度	R3年度(a)	直営時(初年度)比較 (a)-(b)	前指定期間比較 (a)-(c)
60,337	50,688	50,688	50,160	55,766	50,616	▲9,721	▲ 72
利用者満足度 (%)	満足		やや満足	配置職員数(人)	直営時又は導入1年目	令和3年度	
	57	36			7	28	

2. 評価結果

評価項目及び評価のポイント						
1 施設の設置目的の達成(有効性の向上)に関する取組						
(1) 施設の設置目的の達成						
①施設の特徴を生かし、施設の効用を高めるための取組がなされているか。						
②施設の設置目的に応じた効果的な広報など情報発信がなされているか。						
③施設の利用者の増加や利便性を高めるための取組がなされ、その効果があったか。						
【実績】						
(利用者数 目標120,000人 令和元年度100,582人 令和2年度70,939人 令和3年度88,229人) ○新型コロナウイルスの影響により、施設利用者数は目標に達していないが、利用者ニーズに応じた自主事業を展開している。 ○ホームページなどを利用し、水泳教室やフロア教室の広報が行われている。						
(2) 利用者の満足度						
①利用者アンケート等の結果、施設利用者の満足が得られていると言えるか。						
②サービスの質や量は向上しているか。						
③利用者の苦情や要望、意見を把握し、その対応を行っているか。						
④利用者への情報提供が十分になされたか。						
【実績】						
○利用者アンケートにおいて93%の方が、満足・やや満足と回答している。 ○アンケート対象者数が少なく、未回答者が多かった。 ○利用者の意見や要望の把握は適切に行われており、対応可能なものについてはすぐに対応している。 ○施設の休館情報等、随時情報提供を行っている。						
2 効率性の向上等に関する取組						
(1) 経費の低減等						
①施設の管理運営において経費の削減が図られているか。						
②清掃、警備、設備の保守点検等の業務について再委託が行われた場合、それらが適切な水準で行われ、経費が最小限となるよう工夫がなされたか。						
③経費の効果的・効率的な執行がなされたか。						
【実績】						
○新型コロナウイルス感染症対策が必要となったが、施設維持管理等について可能な限り職員が対応することとし経費の削減を務めている。 ○一定の休館期間により、光熱水費等においては経費の削減がなされている。						
(2) 収入の増加						
①収入を増加させるための具体的な取組がなされ、その効果があったか。						
【実績】						
○利用料収入は増加となっており、新型コロナウイルス感染症の対策を行う中で自主事業を実施し、利用料収入の増額に努めている。						

3 公の施設にふさわしい適正な管理運営に関する取組	
(1) 施設の管理運営の実施状況	
①事業計画等に基づく適切な人員配置や勤務体制となっているか。	
②従事者への教育・研修は、適切に行われているか。	
③地域や関係団体等との連携や協働が図られたか。	
【実績】	
○多様な勤務ローテーションにより過不足なく効率的に配置している。 ○人権・同和問題研修等、事業計画通りに実施されている。とくに、水上救助訓練・AED研修等危機管理研修への意識の高さがうかがえる。 ○従業員の地元雇用や、地元業者との再委託により地域の活性化に貢献している。	
(2) 法令遵守、平等利用、安全対策、危機管理体制など	
①関係法令(地方自治法、労働関係法令、通則条例、設置条例等)の遵守等に遺漏はないか。	
②施設の利用者の個人情報を保護するための対策が適切に実施されているか。	
③市民の公平かつ平等な利用が確保されているか。	
④施設の管理運営(指定管理業務)に係る収支の内容に不適切な点はないか。	
⑤管理物件の修繕や日常の事故防止などの安全対策が適切に実施されていたか。	
⑥事故発生時や非常災害時において適切な対応が取れる体制を確保しているか。	
【実績】	
○適正に法令を遵守した管理運営を行っており、公平かつ平等な利用が確保されるように努めている。 ○施設の管理運営に係る収支について適切に処理されている。 ○水泳指導研修、心肺蘇生法・AED研修を実施するとともに、経年劣化により重大な事故等が発生しないよう、日常点検を実施している。	

【総合評価】

【所見】
これまでの指定管理者としての経験等を活かし、施設の維持管理等が行われている。また、利用者ニーズに応じた自主事業が展開されている。
【今後の対応】
新型コロナウイルス感染症対策を引き続き行い、施設利用者数の向上に努めていただきたい。施設の管理について、経年による老朽化が進んでおり、大規模事故が生じないよう、施設所管課と綿密な連携を取りながら日常点検を行うことが必要である。

【前年度の大分市行政評価・行政改革推進委員会における指定管理者制度導入施設に対する主な意見等】

主な意見等	市の対応状況
①指定管理者の評価基準に関して、利用者数やコストといった定量的な評価のみではなく、設置目的にあるように、市民の健全な発達に寄与しているかどうかを評価していくべきではないか。そのための指標を今後どのように設定するかが課題と考える。 ②SNSやFacebookの更新が滞っている。子ども達が楽しそうに利用している姿を掲載する等、より効果的な広報を行うことが必要である。 ③利用者数が低迷する夏季以外のシーズンの利用者数増加に向けた戦略を検討してほしい。 ④アンケートのサンプル数が少ないため、利用者の満足度を充分に把握できているとは言い難い。スマホを活用する等、サンプル数を増やす努力をしていただきたい。	①利用者の要望やアンケート結果等を用いてよりきめ細かい分析を行い、施設の設置目的の達成のために、どのような取り組みが必要かを検討していく。 ②SNSには、誹謗中傷の書き込みがあったため、休止しており、現在はホームページの更新のみを行っている。 ③夏季以外の利用者が低迷する時期の取り組みとして、夜間割引(10月～6月)や教室募集の折り込みチラシを3月又は4月に配布し、利用者数増加に向けて取り組んでいる。 ④教室利用者へのアンケート用紙の配布や館内掲示で協力依頼をするなどの取り組みを行っている。

【R4年度 指定管理者評価部会の意見】

①指定管理者から提出される予算書・決算書のチェックをしっかりと行い、適正に指定管理料が使われているかを評価できるよう、管理・指導していただきたい。また、指定管理者自身にも決算について評価させるべきである。
②市民が安全に施設を利用してもらえよう、施設の修繕は先回りをして実施していただきたい。
③アンケートのサンプル数を増やすため、回答者にはプール無料券の配付などを検討してみてもよいと思われる。